

兵庫医科大学  
ささやま医療センター  
ささやま老人保健施設

リハビリテーションのご案内



私たちは医療と介護の両面からリハビリテーションを通じて  
皆さまの安心安全な在宅生活を支援いたします

# ● 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟は、急性期治療を終えた後の患者さまに対して**在宅復帰**や**寝たきり防止**、**日常生活活動（ADL）の向上**を目指し、**集中的なリハビリテーション**を行うための病棟です。



リハビリテーションセンター



病棟デイルーム

## リハビリテーションの充実



多職種での取り組み



言語機能練習

## 生活関連動作の再獲得



家事動作練習



## 自宅での生活・活動を支援



屋外歩行練習



畑作業

## チーム医療としての取り組み

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ケアワーカー、ソーシャルワーカー等がチームとなり、患者さまの早期回復に向けて密な連携を図っています。また、定期的にカンファレンスを実施し、在宅復帰のための目標を明確にしています。



## 退院後の生活を見据えた

### リハビリテーションの実施

患者様の退院後の生活を支援するために、自宅に訪問し排泄や入浴、調理、掃除などの日常生活動作の練習を積極的に行っています。ご家族にもリハビリテーションの見学や介護指導を通じて退院の準備に参加して頂いています。



## ● 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟は、自宅での生活に戻るためのリハビリテーションや日常生活の練習を行ったり、在宅サービス利用の提案をするなど、ご自宅や施設などに退院される準備を行う病棟です。

### こんな時に地域包括ケア病棟を活用してください

#### 急性期後のリハビリテーション

急性期病棟での治療終了後、在宅復帰や社会復帰への不安があるが、回復期リハビリテーション病棟の入院対象とならない場合、継続してリハビリテーションを行います。

#### 緊急入院時のリハビリテーション

在宅及び施設生活の中で、軽症急性疾患により緊急入院された患者さまに対して、必要に応じリハビリテーションを行います。



#### 維持期(生活期)における集中的なリハビリテーション

在宅及び施設生活の中で、それまでの能力の維持が難しくなってきた時に集中的なリハビリテーションを行います。

#### レスパイト入院時のリハビリテーション

介護者の負担軽減のために、身体機能の維持向上が必要な時にリハビリテーションを行います。

多岐にわたる入院患者さまの受け入れが可能であり「**充実した在宅復帰支援**」と「**積極的なリハビリテーション**」を実施します。機能練習に加えて、多職種連携カンファレンス、退院前家屋訪問、担当者会議等により、患者さまの**在宅生活を支援**します。

## ● 一般病棟

一般病棟では、整形外科・外科の術前術後、内科の呼吸器疾患や循環器疾患、様々な病気による廃用性症候群に対して、各科医師やリハビリ医師の指示の下、早期離床や症状改善を目指しリハビリテーションを行います。

各種検査でのリスク管理や入院前の生活状況の確認、多職種でのカンファレンスなどを行い、患者さまの状態や生活に合わせた効果的なリハビリテーションの実施を目指しています。

## ● 介護老人保健施設

介護老人保健施設は、要介護または要支援状態と認定された方に対して、心身機能の維持・回復を図ると共に自立した日常生活を支援する施設です。

### 入所

ご自宅への生活復帰を目指した支援を行います。

#### ・生活リハビリテーション

日中はベッドから離れて生活すること、食事やトイレ、入浴などの生活動作はもとより、レクリエーションなどの行事にも積極的に参加していただくことで、より「在宅生活」に近い生活リズムを獲得できるように支援します。

#### ・家屋訪問

入所前や入所中に、リハビリ療法士や介護スタッフ、支援相談員などの専門職が、ご自宅に伺い、利用者さまやご家族と共に、「在宅生活」に向けての課題の検討を行います。



#### ・在宅復帰に向けた支援

安全安心な「在宅復帰」や「在宅生活」の継続のために、車椅子やベッド、ポータブルトイレなどの福祉用具の選定や、手すりの設置などのご自宅の住宅改修を提案します。

また在宅での安全な動作方法や、ご家族への介助方法のアドバイスを行います。

退所時には、介護保険サービスの各事業所と連携し、安全安心な在宅生活の継続に向けて、情報提供を行います。



### 短期入所（ショートステイ）

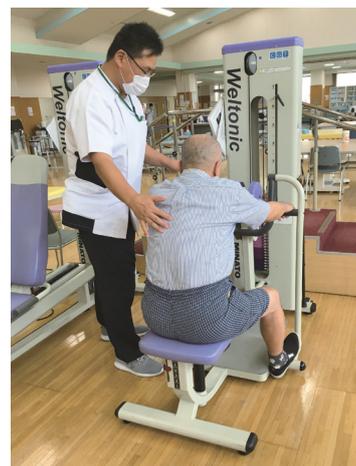
介護しておられるご家族が、何らかの理由で一時的に介護できないときに、短期間利用していただけるサービスです。

## 通所リハビリテーション

ご自宅で生活されている方を対象に、通いで利用していただくサービスです。

リハビリ療法士が生活環境を確認したうえで、その方の能力や目的に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、より自立した日常生活がおくれるよう支援します。

ご利用時には、マシンなどを使用した筋力トレーニングや、歩行などの基本動作練習、入浴などの日常生活動作練習を行います。また話しづらさや飲み込みに対して、言語聴覚士が対応します。



## ● 訪問リハビリテーション

利用者さまが安心で、快適で、できる限り自立した日常生活を過ごしていただけるように、リハビリ療法士がご自宅に訪問し、リハビリテーションを行います。利用者さま・ご家族のニーズに合わせて支援を行います。

- ・ 歩行動作や段差昇降の練習・指導
- ・ 入浴動作など日常生活動作の練習・指導
- ・ 家事動作の練習・指導
- ・ 話すこと（コミュニケーション、発声発語）の練習・指導
- ・ 食べること（摂食嚥下）の練習・指導
- ・ ご家族への介助方法の提案
- ・ 住宅改修や福祉用具に関する提案 など



食べることの練習



歩行練習



調理練習

## 訪問診療

自宅で生活しており通院が困難な患者さまを対象に、リハビリテーション科医師が自宅に訪問して診察を行っています。体調管理に加えて、自宅での生活環境や生活動作の確認、身体機能維持を目的とした自主訓練の助言、訪問リハビリテーション担当者やケアマネジャーとの連携を行い、患者さまやご家族が自宅での生活を安心して送ることができるように支援を行います。

# ● 専門性を生かしたリハビリテーションの提供

## 心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーションとは循環器疾患をお持ちの患者さまの早期社会復帰や再発予防、健康寿命の延長などをめざして、運動療法・患者教育・生活指導などの包括的な取り組みを行うものです。

当院では、入院中の心臓リハビリテーション、退院後の外来心臓リハビリテーションを行っています。

運動療法ではベッド上安静から徐々に活動範囲を広げていき、自転車エルゴメータをはじめとした有酸素運動や筋力トレーニングを行います。また、運動療法のほか、食事や生活習慣の見直しのために生活指導を行っています。



## 歩行アシストロボット

近年リハビリテーション治療において、ロボットを使用した治療が注目されています。当院では、脳卒中片麻痺患者さまの歩行再獲得を目的として開発された歩行訓練ロボットを導入し、患者さまの機能訓練に活用しております。

麻痺のある足に装着したロボットが足の振り出しや膝の固定などをサポートすることで歩行困難な方の歩行訓練を可能とします。また、歩き方の改善にも有効とされており、慢性期（発症から半年以上経過した方）でも効果があるという研究もなされています。歩行能力の改善は日常生活の様々な動作へつながり、患者さまの生活の質向上やご家族の負担軽減に貢献できます。



## ボツリヌス療法

当院では脳卒中の後遺症に多い手足のつっぱり（痙縮）に対し、医師によるボツリヌス療法を行っています。ボツリヌス療法は筋肉の過剰な緊張を和らげる薬剤を筋肉に直接注射する治療で比較的安全に実施することが出来ます。この治療とリハビリテーションを組み合わせることで疼痛の軽減や動作能力の向上、介護負担の軽減といった効果が期待できます。また、近年では注射部位を決定する際に超音波や電気刺激を併用することで的確な治療を行える様になっています。

## コミュニケーション支援

失語症をはじめとする高次脳機能障害や構音障害などをお持ちの方に対し、各種専門的検査も用いて機能評価を行い、言語能力の改善に向けてリハビリテーションを行います。

- ・コミュニケーション能力の獲得を目指した、  
 実際場面での代償法練習
- ・生活場面での助言や指導
- ・患者さまの症状やご家族との生活スタイルに応じた  
 長期的な支援



## 摂食嚥下リハビリテーション

リハビリ医師と共に、嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査などの検査も用いて機能評価を行い、摂食嚥下機能の改善に向けてリハビリテーションを行います。

- ・嚥下機能の器質的・機能的評価、練習方法の検討
- ・発症早期の食事再開時の食形態や食事環境の調整
- ・食べる楽しみを維持するための食事環境の調整
- ・在宅患者さまや他施設利用者さまへの、外来診療での評価や指導



## 自動車運転再開支援

当院では普通自動車の運転再開を希望される脳卒中患者さまに、院内・院外を合わせた包括的な自動車運転再開支援（運転支援）を実施しています。

- ・運転に必要な認知・高次脳機能の検査の実施
- ・ドライビングシミュレータを使用しての運転評価
- ・実車評価が可能かどうか、院外での運転支援への移行を検討
- ・市内の教習所と連携した取り組み



ドライビングシミュレータ

これらの結果を合わせ、運転評価に特化したカンファレンスを開催し、医師が運転再開の可否を判断します。

## ● 総合支援室のご案内

当院に入院をご希望の方、ご相談がある方は気軽にお問い合わせください  
兵庫医科大学ささやま医療センター 総合支援室 ☎ 079 - 552 - 7390

### <申し込み手順>

- 他の病院に入院中の方  
入院されている病院の地域連携室を通じてご相談ください。
- 外来通院等されている方  
かかりつけの先生や担当のケアマネジャーを通じてご相談ください。  
もちろん、ご本人およびご家族からのご相談も受け付けております。



総合支援室は患者さんやご家族が抱えている不安や困りごとをお聞きする相談窓口になっています。ご相談内容によっては、院内の多職種とも連携し、問題解決のお手伝いをしております。  
気軽にご相談ください！



ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地

TEL. 079-552-1181 (ささやま医療センター代表)